

松江市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

シリーズ景観 ⑨

— 京島の松 — ～第18回しまね景観賞奨励賞受賞～

八東町入江地区の西側、中海の沖合に浮かぶ京島は、古くから海の守り神が祀られ、佇まいは宍道湖の嫁ヶ島によく似ています。波が穏やかな晴れた日には背後に見える嵩山などの山並みが湖面に映り、美しい景観を醸し出します。また、夕日の京島も別の美しい表情を見せてくれます。

こうした京島の美しさの背景には、入江生産森林組合の活動があります。冠水、浸食、塩害などに悩まされる厳しい自然環境の中、森林組合のみなさんは毎年3、4回、京島に渡って松の扱巻き、草刈り、土石の搬入、枯れた松の伐採、新たな植樹などの活動を継続して行い、この美しい景観を長年にわたって守り続けてきました。

このたび、森林組合のみなさんの継続的な活動が高く評価され、第18回しまね景観賞において奨励賞を受賞されました。



「しまね景観賞」の応募は、年間を通して受け付けを行っています。

しまね景観賞

検索

【お問い合わせ】景観政策室 ☎55-5387 FAX:55-5552 E-mail:keikan@city.matsue.lg.jp